

平成 27 年度第 1 回鏡ヶ池会役員会議事録

日 時：平成 27 年 4 月 24 日（金） 17:30～20:30

場 所：名古屋大学東山キャンパス 工学研究科 8 号館 210 号室（社会基盤工学専攻大会議室）

出席者：寺島会長，今枝(東京支部担当・代理)，浜嶋(関西支部担当)，清水(しゃち担当)，山本(しゃち担当)，水野(1 期)，高瀬(2 期)，青木(3 期・代理)，遠山(5 期)，堤(6 期)，大内(8 期)，河邑(9 期)，吉田(10 期)，伊藤(11 期)，水野(12 期)，田中(13 期)，向井(15 期)，織田(17 期)，岩田(18 期)，伊東(20 期)，後藤(21 期)，加藤(22 期)，中野(24 期)，野田(25 期)，石川(27 期)，川崎(29 期)，萩野(30 期)，石川(31 期)，水野(32 期)，香川(33 期)，三輪(34 期・幹事長)，田代(35 期・副幹事長)，中井(36 期・会計)，判治(37 期・名簿)，渡邊(40 期)，二井内(41 期)，野田(42 期)，赤根(43 期)，奥岡(44 期・名簿)，後藤(46 期・名簿・女子)，朝日(50 期・学生会会長)，阪本(50 期)，工藤(51 期)，福和(51 期)，森(4 年) 出席者数 45 名

■役員会に先立ち，会長・幹事長からの挨拶および幹事自己紹介（資料 27-1-0）があった。

報 告

1. 平成 26 年会計報告（資料 27-1-2） （中井）
 - ・平成 26 年度の会計報告があった。
 - ・収入における“その他”は全学同窓会からの払い戻しである。
 - ・支出の“その他”は一昨年の名簿 CD 回収費用である。
 - ・消耗品は事務員のノート PC の購入費である。
 - ・国家公務員試験対策に取り組んでいるため，国家公務員対策費の支出があった。

2. 会費納入状況（資料 27-1-3） （中井）
 - ・会費の納入状況の報告があった。
 - ・今年度より 1 期の一部会員がプレミアム会員となった。

3. 後援基金報告 （加藤 代理：三輪）
 - ・後日改めて報告していただくこととなった。

4. 支部活動報告
 - 1) 東京支部（資料 27-1-4） （今枝）
 - ・役員会，幹事会，支部総会の開催予定の説明があった。
 - ・支部総会を 11 月 14 日に実施。伊藤義人教授，舘石和雄教授を招き，参加者も 94 名と盛況であった。
 - ・平成 26 年度の会計報告および 27 年度の計画が説明された。

- 2) 関西支部 (資料 27-1-5) (浜嶋)
- ・関西支部大会, 関西銀シャチ会, 全学同窓会関西支部幹事会など平成 26 年度後半の活動報告がなされた。
 - ・平成 27 年度の活動計画が説明された。
 - ・26 年度の会計報告があった。
5. 教室近況報告 (資料 26-1-6) (中野)
- ・水工学講座の戸田祐嗣准教授が教授に昇任し, 新たに趙容桓助教が着任した。
 - ・水工学講座の川崎浩司客員教授は客員准教授から昇任した。
 - ・社会基盤機能学講座に中村晋一郎講師が着任した。
 - ・未来社会創造機構の田代むつみ特任講師は社会基盤工学専攻助教からの昇任である。
 - ・土木教室では 50 名の留学生がおり, 工学部の中で最も留学生率が高くなっている。
6. 学生会活動報告 (資料 27-1-7) (朝日)
- ・平成 26 年度の活動として土木展, ソフトボール大会, 土木系運動会, 卒業記念パーティーについての報告があった。
 - ・土木展においてコンクリート人形作成などを実施しており, 子供たちに人気を博している。
 - ・ソフトボール大会は雨天中止となったが, 懇親会を予定通り行いじゃんけん大会を行った。
 - ・学生会の会則を昨今の学生会活動に合わせ修正を行い, 承認された。
 - ・平成 26 年度の会計報告および平成 27 年度の予算案の説明があった。また土木展の拡大と留学生を交えた会などにおけるハラル料理への費用として補助金の増額を願い, 承認された。
 - ・来年度の活動予定の説明があった。
 - ・過去に行われていた懇親会を再開することについて報告があった。
7. 女子の会活動報告 (資料 27-1-8) (後藤)
- ・第 2 回, 第 3 回の土木女子の会について活動報告があった。
 - ・平成 26 年度の会計報告があった。
8. 留学生関連活動報告 (資料 27-1-9) (清水)
- ・Alumni Newsletter Issue No.4 の発刊準備について報告があった。
 - ・これまで通り, Tea chat party およびウェルカムパーティーが開催されることが報告された。
 - ・5 月より留学生担当が趙助教に引き継がれることについて報告があった。
9. 土木事業談話会・就職面接マナーセミナーの実施報告 (資料 27-1-10) (三輪)
- ・平成 26 年度土木事業に関する談話会の実施結果について報告された。懇親会では学生と

卒業生で活発な意見交換があり盛況であった。

・平成 26 年度就職面接マナーセミナーについて報告がなされた。就職活動の期間が後ろ倒しになったことに合わせ、例年よりも遅い開催となった。参加学生が減少しているが、これはインターンシップと重なった学生がいたためである。

10. その他 (伊藤)

- ・名古屋大学全学同窓会 NUAL の内容説明があった。
- ・同期会等の報告がなされた。

議 事

1. 幹事・役員の変更 (資料 27-1-0) (三輪)

- ・支部担当 (東京) 寺尾圭史氏に変更になった。
- ・広報担当 (しゃち) に清水優助教が加わった。
- ・教員幹事が中野正樹教授に変更となった。
- ・留学生担当が趙容桓助教に変更となった。
- ・女子の会担当が後藤梓助教に変更となった。
- ・学生会会長に朝日一堯氏が就任した。
- ・8 期幹事が大内博男氏に変更となった。
- ・50 期幹事が阪本早弥奈さんとなった。
- ・51 期幹事が工藤佳祐さん、福和彩果さんに変更となった。
- ・4 年幹事として森麻衣子さん、鰐部万磨さんを迎えた。

2. 平成 26 年度第 2 回鏡ヶ池会役員会議事録 (案) (資料 27-1-1) (三輪)

- ・平成 26 年度第 2 回鏡ヶ池会役員会議事録が承認された。

3. 「会員名簿」 No.50 編集方針 (資料 27-1-11) (奥岡)

- ・「会員名簿」 No.50 編集作業の総括と No.51 の編集方針が報告された。

4. 「しゃち」 No.55 編集方針 (資料 27-1-12) (山本)

- ・しゃちの内容に関する報告が行われた。大枠の変更はない。

5. 「銀しゃち」について (三輪)

- ・現在の投稿状況などについて報告があった。
- ・5 月中に発行予定である。

6. サーバの管理について (資料 27-1-13) (中村友 代理：三輪)

- ・鏡が池会のサーバ管理について報告があった。
- ・サーバ維持管理費用の支出について承認された。

7. 学部2年生以上対象の講演会・懇談会の実施について(資料 27-1-14)(中村友 代理:三輪)
- ・上記講演会および懇談会について説明があった。
 - ・学部2年生以上対象の講演会・懇談会の実施について、類似の土木事業に関する説明会との違いについて説明があり、鏡ヶ池会として開催を支援することが承認された。
8. 第25回総会について(資料 27-1-15) (三輪)
- ・第25回総会の議案について説明がなされた。
 - ・第25回総会の日程が平成27年7月10日であると発表された。
 - ・平成26年度の会計決算報告を再度確認した。
 - ・平成27年度予算について報告があり、新たな学生支援を考慮して修正することとなった。
 - ・後援基金報告については役員会での承認が必要であるため、メール審議することとなった。
9. 同窓会管理システムの導入について (中井・判治)
- ・維持費用が今後上がったりしないか、しっかりとした確認の上で契約を行う必要がある。
 - ・秘密保持の契約内容に注意するよう意見がなされた。
 - ・伊藤氏(11期)からPCを持っていない人がオンラインで情報更新できる手段が必要だと意見がなされた。これに対しては印刷などでの対応が考えられている。
 - ・会員への周知などの対応について質問がなされた。しゃちに掲載する、IDとパスワード郵送時に使い方を添付するなどに加え、各期の幹事の協力が依頼された。
 - ・使い方がわからない人などへのサポート体制について質問がなされた。これについては、鏡ヶ池会事務所に加え、名簿管理業者のサポートセンターが対応にあたると回答がなされた。
 - ・webページの英語化について費用と効果のバランスについて田代氏(35期幹事)から質問がなされた。また、伊藤氏が留学生であっても当学で学んだ生徒は日本語ができるように教育を行っているためインターフェイスが日本語であることは問題にならず、名簿自体を英語表記にできないのであれば英語化の意味はないと述べた。これらの意見に対し、試行の段階では英語化は導入せず、英語化の要望が多ければ導入するという形が提案された。最終的には会長の提案により、英語化は現予算を上限とし、後日導入することが可能であるか検討することとなった。
 - ・入金システムについてクレジット支払いなどが追加されることをうけ、今までの入金方法から移行を推奨したほうがよいかとの質問がなされた。これに対して、既存の入金システムは維持されることが述べられ、個人で入金方法は自由に選択されるのが望ましいとの回答がなされた。
 - ・導入費用と維持費用から、webでの管理システムにおける費用効果は理解したが、これ以上の効果は見込めるのかとの質問がなされた。これに対して、資料の既往の名簿関連の支出に郵送料が含まれていないため、実際の費用効果はより大きいこと、また事務員の負担軽減が見込めるなどの回答がなされた。
10. その他
- ・森さん(4年幹事)が中野教員幹事(24期幹事)から紹介され、コース学生の体育会にお

ける活躍について説明した。4年生の3人に1人が体育会に所属していることや、複数の部活の幹部として土木コースの学生が活躍していることなどが報告された。

以上